レッスンガイド

オブジェクトの整列と中央揃え

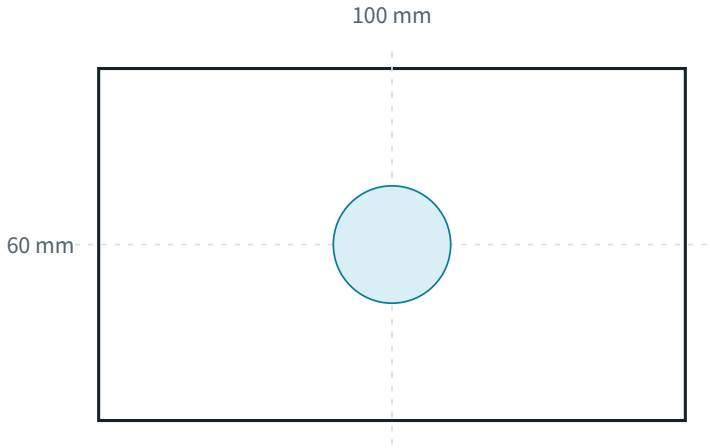
1つの図形を別の図形の内側で中央揃えし、レイアウト全体をページの中央に配置します。

このガイドはAIで翻訳されています。重要な手順は英語の原文と照合してください。

ソフトウェアの練習
レーザーは必要ありません。提供されたプロジェクトにはマシンプロファイルがなく、操作の出力はオフです。保存されている値は素材用レシピではありません。

基準図形は最後に選択したままにする

align-start.lzrprojを開きます。最初に円を選択します。**Shift**を押したまま、最後に外枠を選択します。外枠が整列の基準です。



目標配置。破線が共通の中心を示します。

1. **左揃え**を試してから、Macでは**Cmd + Z**、Windows/Linuxでは**Ctrl + Z**で元に戻します。最後に選択した外枠が基準です。

2. プロパティの「配置」で、**垂直方向の中心を揃える**を使い、左右の中心を一致させます。

3. **水平方向の中心を揃える**を使い、上下の中心を一致させます。

4. 両方のオブジェクトを選択したまま、**ページの中央に配置**をクリックします。空のキャンバスをクリックして結果を確認します。

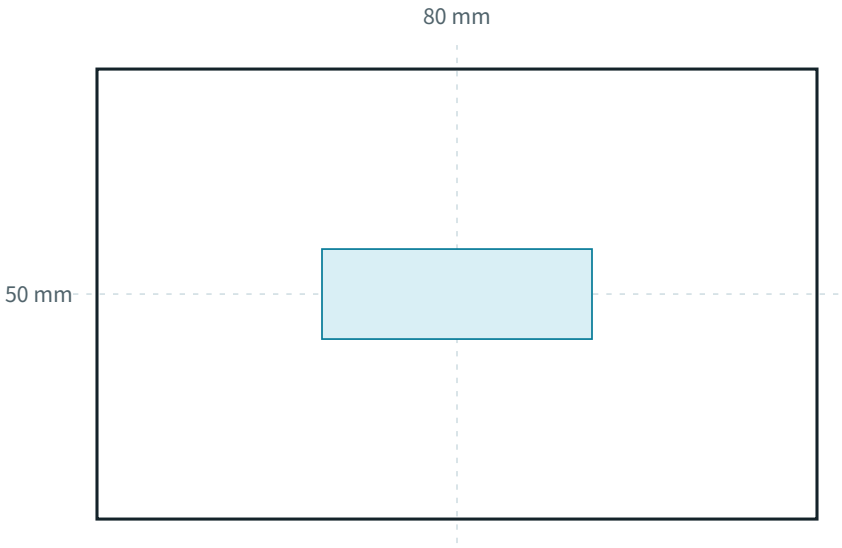
align-complete.lzrprojと比較します。元に戻すには、Macでは**Cmd + Z**、Windows/Linuxでは**Ctrl + Z**を使います。

自主練習

自主練習

説明付きの解答を確認する前に、自分で試してみます。

align-practice-start.lzrprojを開きます。**30 × 10 mm**の長方形を**80 × 50 mm**の外枠内で中央揃えし、両方を**400 × 400 mm**のページ上で中央揃えします。元のサイズを維持します。



目標配置。破線が共通の中心を示します。

□ 小さい長方形を最初に選択し、外枠を最後に選択します。

□ 両方の中心揃えコントロールを使い、両方のオブジェクトを選択した状態で、**ページの中央に配置**をクリックします。

□ 開始用ファイルを利用できるように、**名前を付けて保存**で新しいコピーを保存します。

左右の余白を予測します。

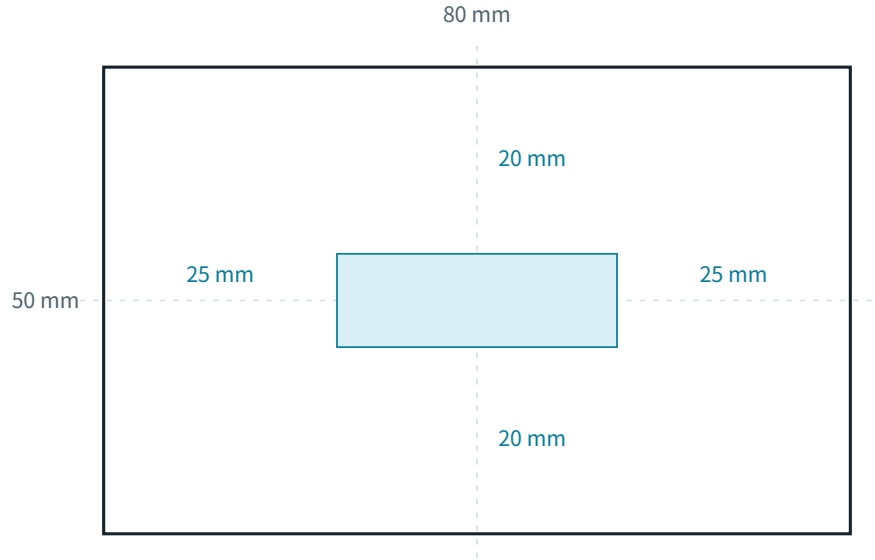
上下の余白を予測します。

共通の中心はページのどこに置かれますか。

説明付きの解答

説明付きの解答

自主練習を終えてからこのページを使います。



目標配置。破線が共通の中心を示します。

それぞれの側に25 mm
内側の幅を外枠の幅から引きます。80を基準に30を差し引くと50 mmが残ります。これを左右に均等に分けます。

上下に20 mm
内側の高さを外枠の高さから引きます。50から10を引くと40 mmです。これを上下に均等に分けます。

ページの共通の中心
400 × 400 mmのページ上のX 200 mm、Y 200 mm。

オブジェクトが間違った方向に移動した場合は、元に戻して外枠を最後に選択します。両方のオブジェクトが同じ中心を共有しているのにページの中央から離れている場合は、両方を選択して**ページの中央に配置**を使います。align-practice-check.lzrprojと比較します。

Beam Bench 0.2.37で示されるインターフェイスに一致します。提供されたすべてのプロジェクトで、ページは400 × 400 mmです。

YouTubeで整列レッスンを見る